

報道関係者各位

石灰石を主原料とする「LIMEX Sheet 80 μ m」が ニコニコのりの食品パッケージに採用 ～石油由来プラスチックの使用量を抑えるパッケージ、10月より販売開始～

株式会社 TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）の石灰石を主原料とする「LIMEX Sheet（ライメックスシート）」80 μ m が、ニコニコのり株式会社（本社：大阪市浪速区、代表取締役社長：白羽清正、以下 ニコニコのり）の定番製品「焼きざみのり」のパッケージに採用されました。LIMEX Sheet 80 μ m が食品パッケージに使用される初の事例となります。本パッケージは、富士特殊紙業株式会社（本社：愛知県瀬戸市、代表取締役社長：杉山真一郎）により製造されており、従来の OPP 製パッケージと同等の保存性を有しています。2022年10月より順次店舗に並ぶ予定です。

LIMEX Sheet を使用したパッケージは従来のパッケージと比較し、石油由来プラスチックの使用量を約 30% 抑え、CO₂ 排出量を削減することができます。また、LIMEX Sheet を製造している白石工場（宮城県白石市）と多賀城工場（宮城県多賀城市）は、実質「100%再生可能エネルギー」「CO₂ 排出係数ゼロ」の電力を使用しています。

ニコニコのりは、包装容器のフィルムやトレーの薄肉化やスリム化、軽量化を進め、プラスチック使用量削減に努めており、このたび、LIMEX の環境性能を評価いただき採用に至りました。

T B M

LIMEX Sheet for Food Packaging

LIMEX Sheet 80 μ m が
ニコニコのりの食品パッケージに採用



■ LIMEX Sheet を食品パッケージに使用した場合の特長

特長 1 石油由来プラスチック使用量と CO₂ 排出量を削減

LIMEX Sheet 製パッケージはプラスチック製パッケージと比較し、石油由来プラスチックの使用量を削減できます。また、原材料調達から処分までの製品ライフサイクル全体で、CO₂ を含む温室効果ガス排出量も削減することができます。

特長 2 水や森林資源の使用量を削減

LIMEX Sheet 製パッケージは紙製パッケージと比較し、原料に木材パルプを使用せず、製造時に必要とされる水資源を約 97%削減することができるため、枯渇リスクのある天然資源の保全に貢献できます。

特長 3 高級感のあるマットな質感と丈夫な素材

LIMEX Sheet は、高級感のあるマットで上質な質感が特長です。コシのある丈夫な素材であるため、パッケージのスリム化を実現することができます。

■ 「焼きざみのり」商品概要

名称：焼きざみのり（10 袋）パック

内容量：ざみのり 0.8g×10 袋

賞味期限：13 ヶ月

販売地区：全国

価格体系：オープン <参考本体価格> 250 円（税込み 270 円）

■ LIMEX（ライメックス）とは

LIMEX は、炭酸カルシウムなどの無機物を 50%以上含む、無機フィラー分散系の複合素材です※。主原料が石灰石であるため、プラスチックや紙の代替製品を製造する際に使用する石油や水や森林資源など、枯渇リスクの高い資源の保全に貢献することができます。その環境性能については、製品の原材料調達から生産、流通、使用、廃棄に至るまでの製品のライフサイクルにおける環境影響を科学的に分析するライフサイクルアセスメント（LCA）という手法を用いて算定し、素材開発に活用しています。

すでに 8,000 以上の企業や自治体等にて採用されており、世界 40 カ国以上で特許を取得、COP や G20 などの国際会議で紹介される他、日本の優れた技術として、UNIDO（国際連合工業開発機関）のサステナブル技術普及プラットフォーム「STePP」に登録されています。

※一般社団法人日本規格協会が発行する JSA 規格では「無機成分を主成分とする無機・有機複合マテリアル（JSA-S1008）」と定義されています。

<石灰石について>

LIMEX の主原料である石灰石は地球上に豊富に存在し、資源輸入国である日本においても自給自足が可能な資源です。そのため原油価格の変動に左右される石油由来プラスチックなどと比較して、安定した価格での原料調達が可能であり、供給面においても安定性を有しています。さらに、石灰石は石油由来プラスチックと比較して、原材料調達段階の CO₂ 排出量を約 50 分の 1 に抑えることができ、焼却時の CO₂ 排出量を約 58%削減できます。

<リサイクルについて>

LIMEX は、主要構成素材である無機物と熱可塑性樹脂を分離することなく再生利用することができるため、単一素材で設計された製品と同様、再資源化の可能性が担保されています。これまでに事業者や消費者、自治体と連携し、既存のリサイクル設備を活用した LIMEX のマテリアルリサイクルの取り組みを数多く実施しています。

※LIMEX Sheet 製品は、古紙回収には混ぜないでください。事業系廃棄物として処分する場合は、産業廃棄物として処理してください。家庭系廃棄物として処分する場合は、可燃としてお住まいの自治体のルールに従いご対応ください。

■ 株式会社 TBM

代表取締役 CEO : 山崎 敦義

本社 : 東京都千代田区有楽町 1-2-2 15F

設立 : 2011 年

資本金 : 234 億 2,993 万円 (資本準備金含む) / 2021 年 7 月時点

事業内容 : 環境配慮型の素材開発及び製品の製造、販売、資源循環を促進する事業等

URL : <https://tb-m.com/>

- ・ 2013 年 経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択
- ・ 2014 年 国内特許を取得し、現在、日中米欧を含む 40 カ国以上で登録。その他 100 件以上の特許出願を実施
- ・ 2015 年 宮城県白石市に第一プラントを建設 (LIMEX 生産容量: 6,000 トン/年)
- ・ 2015 年 経済産業省の「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金 (製造業等立地支援事業)」に採択
- ・ 2016 年 米国シリコンバレーの「Plug and Play」で初の『世の中に最も社会的影響を与える企業ソーシャルインパクトアワード』を受賞
- ・ 2018 年 COP24 (第 24 回国連気候変動枠組条約締約国会議) に日本政府代表団として参加
- ・ 2019 年 軽井沢で開催された「G20 イノベーション展」に出展。G20 大阪サミット 2019 の会場での運営品として LIMEX 製品が採用
- ・ 2019 年 中国・河南省、モンゴルでの LIMEX 事業化に向けた基本合意を締結
- ・ 2019 年 代表取締役 CEO の山崎敦義が、「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2019 ジャパン」Exceptional Growth 部門「大賞」を受賞
- ・ 2020 年 使用済みプラスチック等の再生材料を 50%以上含む素材「CirculeX (サーキュレックス)」を発表
- ・ 2020 年 100%再生可能エネルギーの電力を LIMEX の生産拠点に導入
- ・ 2020 年 BtoC 向けの EC 事業「ZAIMA (ザイマ)」を開始
- ・ 2020 年 宮城県多賀城市に第二プラントを建設 (LIMEX 生産容量: 23,000 トン/年)
- ・ 2021 年 韓国財閥の SK グループと 135 億円の資本業務提携を合意
- ・ 2021 年 神奈川県横須賀市で国内最大級のリサイクルプラントのプロジェクトを始動
- ・ 2021 年 自社製造拠点で使用する全電力を実質 100%再生可能エネルギーへ転換

*本リリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社 TBM ブランド & コミュニケーションセンター 酒井菜摘 / LIMEX 事業本部 坂上訓康

TEL: 03-6268-8915 Email: pr@tb-m.com